

保育北九州

平成29年1月1日

発行 (一社)北九州市保育所連盟
〒805-0019
北九州市八幡東区中央2丁目1-1
(レインボープラザ5F)
電話(093)661-2153番

発行人 酒 井 光 義
編集人 日 野 真 人

2017 **186**



みんなで、おもちつきしたよ。

〈提供 八幡東支部〉

「もちつきぺったんぺったん はやくたべたいよ～」

(5歳児の作品)

表紙	1
新年挨拶	2～3
あえて諫言す	4～5
仲間たち	6～7
第54回北九州市保育研修大会	8～9
研修・一期一会	10
各支部近況	11
雑感・編集後記	12

新年のご挨拶

一般社団法人 北九州市保育所連盟

会長 酒井 光義



あけましておめでとうございます。会員の皆様には、健やかに新年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は第3回九州保育三団体研究大会北九州大会の開催をはじめ連盟各事業におきまして、多大なお力をいただきましたことお礼申し上げます。本年も変わらぬご協力のほどお願い申し上げます。

昨年7月に開催した第3回九州保育三団体研究大会は、年度初めに熊本地震という大きな災害に遭った中ではありましたが、「九州はひとつ」を念頭に各県より1500名の参加をいただき滞りなく終了できたことが心に残っています。「おもてなしの心」で接しようとしたその向こうに、笑顔がみえたこと、ありがとうのお返しに充実感を感じたことでした。次回長崎にいつばいのお礼を届けたいものです。

「九州はひとつ」のもう一面として、被災地熊本、大分に対するさまざまな支援もすばらしいことでした。これからが本格

的な復興ですが、各県の想い、北九州の皆さんの想いが少しでも届けられたことが何よりです。

二年目となった新制度ですが、子どもたちの思いにたった保育がすすめられるものとして充実した新制度となっているのでしょうか。まだまだ確定しない財源を筆頭に問題は山積しています。石の上にも三年といいますが、この平成29年が三年目、大切な年となることは必然です。固めてしまいう前、今だからこそ現場の声を大いに発信せねばなりません。

その29年はまた、法人改革の年でもあります。認可施設である保育所(園)は単体で設立されたものではありません。何らかの組織が設置し経営されているものです。現在その組織のほとんどが社会福祉法人ですが、その法人のあり方、組織する役員の役割などが、これまでの形と位置づけが変わり、特に保育所単体のみを設置経営する法人にとっては大きな変更を求

められているのです。既にその変更の手続きに取り掛かるよう指示が出ていますが、各組織が十分な審議のうえ進めることと同時に、法人のあり方を認識し、将来的な見通しを立てておくことも大切なことと思われまふ。

一昨年より、待機児童対策の一環として政府主導で小規模保育事業が実施されました。19名までの3歳未満児を対象とする保育事業で、一般企業の参入もあり全国的にも広がっており北九州でも展開されています。加えて企業内保育所の設置も後押しをし、年齢も5歳児まで拡大していく方針も提示されました。待機児童対策を旗頭に公的資金を営利目的である企業に事業出資する意味は何なのでしょう。またその事業拡大が及ぼしているものが何か見えているのでしょうか。

現在、全国の保育所(園)での一番の問題は保育士確保です。そしてその多くは、入所できる施設はあり、入れてあげたいけど、保育士がいけないというのが現状です。養成校の学生自体も少子化世代であることから新卒採用の困難さが加わっています。潜在保育士への対策も講じていますし、職員処遇のあり方にもやっと目が向き始めました。それは大切であり今後重

要なことです。待機児童は保育施設に保育士がいれば対応できる要素が大きいと思われるのです。すべての小規模が問題であるとはいえませんが、保育事業の展開が尾を引いているとはいえないでしょうか。

また保育所保育指針の改定が進められます。中間報告も出されたことからこれらの保育の展開の様子が見られますが、これからの課題としてその理解と実践に取り組まねばならないことでありまふ。そしてそこに求められる研修の内容等のあり方、強いては職員処遇にも関連したキャリアアップのための研修体系の確立等にも努めなければなりません。

本年は保育者それぞれが、各々の施設のあり方、自らの資質の向上に向けた心構えを形成する年でもあります。連盟としてもその役割を進めて行かねばならないと思ひます。

新年を迎え、これまで築き上げてきた認可施設として、保育施設の誇りを胸に、更なる精進の年と受け止めたいと願っています。この一年、皆様方の保育に対する思いを膨らませつつ、子どもたちの立場に立った視線とともに歩んで参りまふ。どうぞよろしくお願ひ致します。

門司支部

支部長

西 敏昭

保育士会長

松本由紀子

小倉北支部

支部長

岡村 信久

保育士会長

福田みつよ

小倉南支部

支部長

藤井 英和

保育士会長

山崎 啓子

若松支部

支部長

松尾 副充

保育士会長

濱崎 正子

会長

酒井 光義

副会長

山本 文雄

北野 久美

日野 真人

保育士会参与

中村 尋子

保育士会副会長

黒田 玲子

花田喜久代

顧問

西村 賢了

藤岡佐規子

北野 一恵

本年も宜しく
お願いいたします



八幡東支部

支部長

杉園 弘充

保育士会長

重國 香

八幡西支部

支部長

山本 文雄

保育士会長

西澤 満子

戸畑支部

支部長

内田リツ子

保育士会長

井上 清美

あえて諫言す

一般社団法人 北九州市保育所連盟顧問 藤岡佐規子

園庭で戯れる子どもたちの歓声が、青空にこだまして、ともすれば加齢の痛みに沈みがちの心を明るくしてくれる。

当園開園以来、子どもたちの野菜づくりに協力して下さる地域のHさん夫妻も、くっつくなくはしゃぐ無邪気な子どもたちとの触れ合いを心から喜んで下さる。又、近くの老人施設の方々も、子どもたちの訪問を待ちわび相好を崩して大歓迎。帰園時間になっても、「またくるね」という子どもの手を握って離そうとしない。勿論、高齢者のすべてが「子ども好き」とは限らないことは百も承知である。しかし、平成28年9月25日(日)のゴールデンタイムに放映された「番組名：ビッグバラエティ」を視聴なさった方は、どんな感想を持たれたであろうか？

番組半ばで待機児童問題が紹介され、先づカメラは騒音が洩れないという全く窓の

ない保育所を映し出した。「保育園不足の現状・熱すぎる激論」のテロップに続いて待機児童全国ワーストの横浜市石川町の鉄道高架下に設置された保育所では騒音問題はなかったという発言があった。討論の中心は省略するが、これに対するテロップ「池上彰の目からウロコの金言が！」という解説は、「若者の投票率が低いため、結果として高齢者に向けた政治になる。高齢者は子どもの声をうるさがる。横浜のように高架下に保育所を設置すれば騒音問題は発生しない、これはどの地方でも可能である」というものであった。騒音の中で長期間・長時間を過ごす子どもの育ちはいったいどうなるのだろう。

70余年前、日本中が焦土と化し、家も食も無く、初めての敗戦に茫然自失の大人たちに復興への気力を与えたのは子どもたちの笑顔であった。子どもたちに夢を見出し



た大人が、その育ちのために作った最低基準が、豊かになった現在、最高基準になり、待機児童解消のためならどのような環境下であつても、詰め込んで構わないというのだろうか？子どもの育ちに対する配慮が全くなされない発言に、込みあげる怒りを押えることが出来なかった。

「未来、チャレンジ」というが「子どもの現在^{いま}」を大切にしない社会に「明るい未来^{あす}」は拓ける筈がない。

子どもたちは長時間、そして休日も病気の時も預けられたがっているだろうか。人間の倅せな生活のための手段である経済が、逆に人間を経済の奴隷にしているように思えてならない。「働き方の見直し」という提言を、漸く先進国の施策のように「子どもと過す時間の確保」につながると喜んでいたのに、将来の年金積立てのためとは！

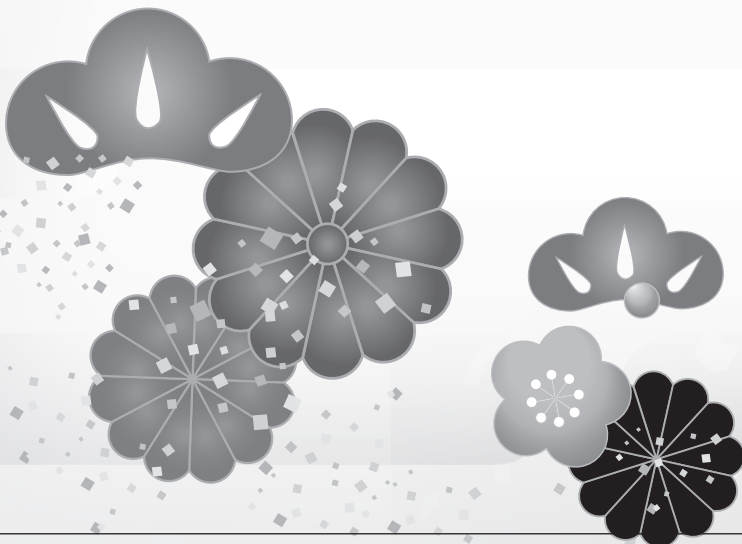
長時間労働のため疲れ果て、心のゆとりを失い、子育てがづらい、わずらわしいと思うようになった夫婦が次子を産む筈がない。

家族を病源的機関と極めつける識者もいるが、山根常男さんは「家族と福祉の未来」という著書（全社協出版1987）の

中で「人は通常、自分が子として生まれ育てられる定位家族と、自分が親として子を生み育てる生殖家族の二つをもつ、そして人は自分自身が独立することによって定位家族を脱し、又自分の子が独立することによって生殖家族であることを終る」と述べている。

私たちは保育という仕事が人間の根っこを育てる営みであり、かけがえない命を持つて誕生し、自ら育つ力は備えていても、根っここの育つこの時期に、大人から愛され、人間を信頼し、心が安定した時にその力が発揮されることを信じ、誇りと喜びを持つて献身努力してきた。子どもの傍に寄り添い子どもの心の動きを感じとるが故に子どもの心が伝わってくる。だからこそ、子どもが求める家族・親には適わないという謙虚さを忘れず、親たちには、他者に子どもを托すときには健全な不安を持つようにと願い、大切なこの時期に手を携えて「子どもの最善の利益」「子どもの人権尊重」を強力に追求しなければならないと思う。

この国が児童権利条約を批准した国であることを政治も行政も社会も忘れてはならない。何故なら「子どもの現在^{いま}」が「日本の未来^{あす}」なのだから。





引野ひまわり学園は昭和45年に、到津ひまわり学園は昭和54年に設立された発達に遅れや配慮を要する幼児期の子どもたちに専門の職員が関わり、家庭と連携をとり

〈概要について〉

今回は、児童発達支援センター引野ひまわり学園の酒井園長先生に、児童発達支援センターの仕組み等を、到津ひまわり学園の清水園長先生に、具体的な内容などをお伺いしました。



ながら、子どもたちの成長・発達のお手伝いをする施設です。

Q. 児童発達支援センターとはどのような施設ですか？

A. 児童発達支援センターは、発達支援を要する子どもたちに対して生活・遊びを主体とする保育を基盤として、それぞれの障害特性に応じた専門的支援を提供します。また、育てにくさを感じている保護者に対して子育て支援を行います。

これらの児童発達支援に加えて、地域支援事業（保育所等訪問事業、障害児相談事業、障害児等療育事業など）の機能が横付けされています。

Q. 職員配置はどのようになっていますか？

A. 児童発達支援事業の児童発達支援センターは児童4人に職員1名、児童発達支援事業所は児童10人までで職員2名、うち1名は常勤になっています。

Q. 北九州市にある福祉型児童発達支援センターを教えてください。

ください。

A. 北方ひまわり学園（定員30名）

到津ひまわり学園（定員50名）

若松ひまわり学園（定員50名）

引野ひまわり学園（定員50名）

光の子学園（定員30名）

総合療育センター（定員50名）

西部分所（定員40名）です。

Q. ひまわり学園の事業について教えてください。

A. 児童発達支援（毎日通園・短時間通園・保育所等訪問支援事業）があります。

〈児童発達支援（毎日通園）について〉

Q. 児童発達支援（毎日通園）とはどのような事業でしょうか？

A. 発達に遅れのある、または配慮を要する3歳から5歳

までのお子さん

が対象です。

お子さんは

単独通園で、

入園から1

か月くらい

で、さまざま

な角度から

酒井園長
らお子さん



の状態を把握（アセスメント）して、支援計画を作成します。支援計画の中で、

長期目標・短期目標を策定し、それに基づいて、クラ

スやグループの活動および

1対1の個別活動を実施し

ます。また、必要に応じて

目標の再評価・修正を行い、

継続的な支援を行います。

Q. 保育時間と給食について教えてください。

A. 活動保育時間は10時から14時までです。給食は完全給

食で、栄養士が献立を考え、

学園内の給食室で調理提供

しています。

Q. ひまわり学園の毎日通園の募集はいつ頃ですか？また募集要項はどのようにすればわかりますか？

A. 28年度は、10月1日の市政

だよりに、平成29年度児童

発達支援センター通所募集

記事が掲載されました。施

設利用申込用紙及び利用申

込についてのお知らせは、

9月中旬ごろから子ども総

合センターや各児童発達支

援センターで配布していま

す。また、申し込みにあたって必要なことが2点あります。

①子ども総合センターでの判定

②子ども総合センター又は各児童発達支援センターへ施設利用申込書提出です。

(今年度のめ切は、平成28年12月16日でした)

〈短時間通園について〉

Q 短時間通園事業とは、どのような事業でしょうか？

A 在宅の方や保育所・幼稚園へ通われている3歳児から5歳児までの発達が気になるお子さんを対象に、そのお子さんやお子さんの家族に対して支援します。親子通園の形をとって、グループでの療育を行っています。北九州市の事業で、受給者証は不要で費用は無料です。

Q 短時間通園の時間や内容を教えてください。

A 園によって多少の違いがありますが、1回のグループ活動は、年中・年長児は90



清水園長

分、年少児は60分です。グループは、曜日固定で月2回実施しています。グループ活動の

ねらいや内容は、それぞれのグループの生活年齢、特性、課題に応じたものになっています。導入、運動、机上、集まり(帰りの会)という流れで構成されています。集まりでは、着席行動、質問に答える、注目する、話を聞くなどを目的とし、次の運動遊びでは、粗大運動、バランス、姿勢保持などを取り入れた活動、机上は鉛筆やはさみの使い方、図や文字を書くなどを行っています。また、保護者と職員でのグループ懇談も行っており、保護者が家庭で困っていることや取り組んでいることについて話します。

Q 短時間通園に子どもと保護者が通っている様子を見せ

て頂くことは可能ですか？

A 事前に連絡して頂ければ、見学は可能です。また、年に1回短時間通園利用児の所属する保育所や幼稚園の先生を対象としたグループ参観も行っています。

〈保育所等訪問支援事業について〉

Q 保育所等訪問支援事業について教えてください。

A 障害を持ったお子さんが集団生活に適應するために、指導経験のある指導員が保育所や幼稚園を訪問し、本人や訪問先の担当者に対し専門的な支援を行います。保育所などからの要望の場合、保護者がこの事業を利用することの意思確認が必要です。またこの事業は国の制度で、学園で障害児相談支援を行なった後、区役所で受給者証の発行手続きをし、学園と契約をして事業の開始となり有料です。

Q

保育所で配慮が必要と思われる子どもがいるときに、どのようにすればひまわり学園とつながることができ

ますか？

A 保育所の職員からひまわり学園を紹介して頂き、保護者から連絡を入れて頂く、対応(短時間通園・保育所等訪問支援)することができます。しかし、保護者がお子さんの状況を受け入れ難い場合は療育センターの地域支援事業を利用し、対象のお子さんを専門の職員に見て頂くことをお勧めします。

〈インタビューを終えて〉

療育という専門分野で活躍されているお二人の先生に、保育所で配慮を要する子どもとの関わりで悩んだ時に、具体的に指導して頂く事のできる機関や方法を分かりやすく教えて頂くことができ、ひまわり学園をとて身近に感じた取材でした。



注…児童発達支援センターの取り組みや時間等は施設により多少の違いがあります。

第54回 北九州市保育研修大会

この研修大会は去る11月2日・3日の両日、アルモニーサンク・北九州ソレイユホールに約二千名の会員が参加して開催されました。以下、その概要をお知らせします。

第一日目 施設長特別研修会

行政説明

北九州市子ども家庭局
子ども家庭部保育課

課長 黒岩 亮

同保育指導担当課長 白井 洋子

保育課の黒岩課長より北九州市の保育行政について、「住みやすいまち北九州」の魅力を物価・住宅・交通・子育て・教育等様々な話がありました。また自分自身も北九州で子育て出来ることの喜びを感じると語られました。その後、ICT化促進の要請がありました。

続いて、保育指導担当課長、白井洋子氏より、「保育施設等における安全管理マニュアル」に基づく報告がありました。9月に厚生労働省より「児童福祉施設等における利用者の安全確保及び非常災害時の体制整備の強化 徹底について」

通達があり、それを受けて北九州市が作成したマニュアルについて説明がありました。保育所は災害時の要配慮者施設であることを再認識し、児童の安全を守るために施設の実情に応じた具体的な非常災害対策計画を作成しなければならないと語られました。そして施設職員の役割分担、緊急連絡体制等を明確化し、職員、保護者、地域の機関等で共有することの重要性についても話されました。

講演

「保育施設における深刻事故予防とコミュニケーション」

NPO法人 保育の安全研究・教育センター
代表理事 掛札 逸美氏

保育におけるリスクをほぼゼロに近づけるため、「ミスに気付く行動習慣」や「家庭への情報発信と園の取組みのア

ピール」の大切さなどについて、ていねいに話していただきました。今後も先生のサイトの情報を参考にさせていただきながら、園内研修等にも活用していきたいと思っています。

第二日目 全体会

基調報告

(一社) 北九州市保育所連盟

会長 酒井 光義

熊本地震では、保育所連盟・私保連・保育士会が力を合わせて募金活動を行い、いち早く義援金を送ることができました。7月に北九州市で迎えた第3回九州保育三団体研究大会には「おもてなしの心」で臨み、参加された方々から北九州市の研修の意識の高さ・内容の充実、行政と築いた研修体制が素晴らしいとの評価をいただきました。「子ども・子育て支援新制度」が施行されて1年半たち、あらためて振り返るといろいろな問題ができています。我が国の子育て支援策は「全ての子育て家庭を社会全体で支える」もので、在宅での子育て家庭も含み、地域の実情にに応じて自治体を実施するとなっています。実施者は市町村であり、それを国が支えるため地方格差が問題視されています。財源の確保、待機

児童解消などの問題や、企業内保育が利益供与にならないかなどの問題もあります。また保育士以外が現場に入ることの是非や、保育の必要度や入所ポイント制など、保育のあり方に不都合が見えてきています。しかし北九州市では行政と意見が交わせる場があり、他の自治体に比べ、より良い子育て支援策ができています。よつにも感じています。

平成29年には事業運営の透明性や評議員会の設置が求められる社会福祉法人改革、30年には保育所保育指針の改定などいろいろな変革があります。本日の研修会で西村法昭顕彰会表彰があります。が、今こそ、その意義を考え、保育の道を切り開いた先人の歩みを振り返りましょう。そして「視点はいつも子どもたち」であることを忘れてはなりません。

実践発表

『生きる力』の基礎を培うために 遊びの環境から学ぶこと」

おおぞら保育所

主任保育士 池内 文恵

乳児期は、日々の生活の中で豊かな経験をすることが学びにつながります。養護と教育の視点を子どもたちに合わせ、質の高い保育を目指したいと話されました。

「親子通園に夢をのせて」

徳力保育所

所長 河崎 幸子

北九州市が行う「親子通園」事業について概要説明があり、通園の様子や実績について具体的に説明がありました。

「北九州市保育士会調査部活動について」

「気になる子どもの実態調査を通して」

北九州市保育士会

調査部長 重國 香

調査部の概要について説明があり、気になる子どもたちに関するアンケート調査の実施方法や、分析、そして今後の課題等の報告がありました。

記念講演

「音楽とマジックと絵本の世界」

「子ども世界を彩る3つの魔法」

ミュージシャン&マジシャン&翻訳家

大友 剛氏

マジック&音楽&絵本の3部で構成されたセミナー形式の記念講演でした。マジックでは、子どもが楽しむファンタ

ジックな世界を体験し、さらに「保育現場で出来る簡単なマジックも紹介して頂きました。

音楽では、鍵盤ハーモニカをより楽しく自由に使えるようにと、デモンストレーションでピアノとの合奏が披露され、素晴らしい音色で感動しました。演奏を通して、子どもにとって楽しい音楽とはどんなことを学び、また「保育士にはピアノが楽しくなるヒントを教えてくださいました。



絵本では、世界的に知名度のある「ねこのピート」を題材に、子ども達が主人公となってアクションや歌を加えていく新感覚の絵本の世界を体験しました。

「参加型の絵本」によって、絵本から飛び出しファンタジーの世界に誘われました。あつという間に時間が過ぎ、会場全体が一体となって笑ったり拍手が湧い

たり、と皆を魅了した記念講演でした。

さらに、北野保育士会長から、日頃の保育に役立ててもらいたいと、マジックや絵本セミナーで使った教材を連盟の会員全員に提供してくださると紹介があり、一層の拍手が沸き起こりました。

寄付

(二社) 北九州市保育所連盟

(公社) 北九州市私立保育園連盟

北九州市保育士会

へご寄付

光沢寺保育園 園長 藤岡昭

正様より瑞寶雙光章受章に伴い、多額のご厚志を頂戴いたしましたのでご報告いたします。寄せられましたご主旨を尊重し、有意義に活用させていただきますと共に心から感謝申し上げます。

(二社) 北九州市保育所連盟

へご寄付

若竹保育園 園長 岩橋竹美様

より 瑞寶雙光章受章に伴い、多額のご厚志を頂戴いたしましたのでご報告いたします。寄せられましたご主旨を尊重し、有意義に活用させていただきますと共に心から感謝申し上げます。

寄付

(二社) 北九州市保育所連盟

(公社) 北九州市私立保育園連盟

北九州市保育士会

へご寄付

栄美保育園 園長 宮原健輔様

より社会福祉法人 栄美会 理事長 廣常幸子様のご逝去に伴い、保育事業発展のため多額のご芳志を頂戴いたしましたので、ご報告申し上げます。

(公社) 北九州市私立保育園連盟

へご寄付

野尻 千代子様より社会福祉法人 宏隆会 理事長 樋上隆司様

のご逝去に伴い、保育事業発展のため多額のご芳志を頂戴いたしましたので、ご報告申し上げます。

(二社) 北九州市保育所連盟

へご寄付

ルンビニー保育園 園長 大沼

顕隆様より前園長 大沼信隆様のご逝去に伴い、保育事業発展のため多額のご芳志を頂戴いたしましたので、ご報告申し上げます。

研修・一期一会

第60回全国保育研究大会(徳島)

―すべての人が子どもと子育てに関わりをもつ社会の実現をめざして―

平成28年10月12日～14日の3日間、徳島市において第60回全国保育研究大会が開催されました。

初日オープニングはメイン会場「アステイとくしま」において、市内の保育所(園)に通う子ども達と先生方による『おどらなそんな あい(I/愛/藍・あわ(OUR/阿波)・おどり』で始まりました。舞台で大人さながらに踊る子どもたちの姿に見とれました。行政説明では、厚生労働省の雇用均等・児童家庭局保育課長より待機児童対策、処遇改善、保育士の人材確保を中心に詳しい説明がありました。基調報告では、全国保育協議会 万



田康会長より、待機児童対策、認定子ども園についての課題、保育所保育指針の改定、社会福祉法人改革等についての内容が語られました。特に

社会福祉法人改革について、社会情勢と鑑みながら、取り組んでいく必要がある事を強く述べられており、社会福祉に携わる者として身の引き締まる思いがしました。

2日目は、11の分科会が開かれました。私は、「保育者の資質向上を図る」というテーマの第3分科会に参加しました。分科会では、栃木県宇都宮市さくら保育園による「保育の質を高める自己評価」、京都府舞鶴市八雲保育園による「子ども時間



間の設定による子ども主体の保育を展開するために、香川県高松市川島保育所「職員のチーム力を高めるための3年間の取り組み」それぞれの実践発表がありました。どの保育園の発表も、試行錯誤を繰り返しながら真摯に保育実践を積み上げてこられた素晴らしい内容でした。講師の武庫川女子大学倉石哲也教授の助言の中で、保育の質が子どもにも与える影響について話されていたことが印象に残り、保育士の資質向上は、子どものより良い育ちを保障

するうえで切り離す事は出来ないものである事を改めて心に刻みました。

大会最終日は、写真家小西貴士氏による「子どもであるという自然」と題しての講演でした。映像と音楽の世界に誘われ、大自然の中で様々な表情を見せる子どもたちの姿に心温まる時間となりました。結びは、大会宣言と次期開催地である兵庫県へバトンタッチが行なわれ、大会の幕が下ろされました。

メインテーマの意味する、「すべての人が子ども子育てに関わる社会実現」子どもの最善の利益に向けた私たち保育関係者の保育実践の営み」を社会にアピールする効果的な方法は、「保育の質の向上」であると教えていただいた研修会でした。個人のスキルアップが大切であると感じていましたが、園全体の職員の保育力を高めていく事も大切な課題である事に気づかされました。これからはこの研修で学んだことを生かすためにも、同じ方向に心を一つにして取り組むチーム力を高め、職員間のコミュニケーション力向上に努め、より良い関係性を作りながら日々の保育の充実を図っていききたいと思います。

古城保育園 鏑野 妙子

およろこび

☆瑞寶雙光章

光沢寺保育園 園長 藤岡昭正

☆瑞寶雙光章

若竹保育園 園長 岩橋竹美

☆全国私立保育園連盟保育功労賞

つばさ保育園 園長 金原ひとみ

金田保育園 園長 山下 諒子

☆厚生労働大臣表彰(社会福祉功労者)

あおば乳児保育園 園長 稲田涼子

☆全国保育協議会会長表彰

小倉北ふれあい保育所(夜間部) 施設長 酒井義秀

おぶね保育園 園長 有野俊文

大鳥居保育園 副園長 小野 久美子

☆西村法昭顕彰会表彰

光沢寺保育園 園長 藤岡昭正

井堀保育園 園長 中山慶子

☆厚生労働大臣感謝(保育事業従事者)

白野江保育園 園長 藤富孝雄

こじか保育園 園長 山崎啓子

鴨生田保育園 主任保育士 松尾孝子

大鳥居保育園 園長 小野ヨシ子

支部近況

第12回

八幡西区篇

今年度は第3回九州保育三団体研究大会の開催にあたり、北九州市の保育関係者が一致団結してそのパワーを発揮しました。また、研修を通して未来ある子ども達のためにも、みんな保育をより良いものにしていくという共通の思いが深まりました。

八幡西支部でも、毎年趣向を凝らして様々な研修を計画しています。その中でも、支部近況として、10月に行われた職員研修会と保育まつりについてご紹介します。

平成28年10月14日（金）。仕事を終えたその足で、的場池体育館に約280名の、園長・保育士・調理員・事務員・用務員の先生方が集結しました。はじめは仕事疲れがちよっぴり元気がなかったのですが、講師 福尾野歩さんのパワーをもらい、徐々に笑顔いっぱい、笑い声いっぱいの職員研修会となりました。手品や身近なじゃんけん遊び、うた遊びに驚いたり、歓声

を上げたり、童心に戻って楽しみました。「あそびは明日のみんなをつくるこころの元気だ！」という野歩さんのメッセージはみんなに伝わり、それぞれの園に戻って子ども達に還元できるお土産をたくさんもらいました。

次の日は、コムシティにある「子どもの館大ホール」にて、13時30分から全保育所（園）合同の保育まつりを



開催しました。講師は2日連続の講演でも、そのパワフルさは衰え知らずの福尾野歩さんでした。この日を迎えるに当たって、地域の方や一般の方に保育所（園）を知ってもらいたいと、全園で手分けをして地域のいろいろな場所に保育まつりのチラシを配布しました。また、当日、黒崎駅や子ども館で呼び込みも行いました。前もって人数把握をしていなかったで、どれだけの方が参加してくれるかドキドキしましたが、200名を超える多くの参加でにぎわいました。最近少し活気

がなくなっている黒崎の街に、お土産のお散歩バルーンを持った笑顔いっぱいの親子連れが溢れた一日でした。アンケートにも「今も昔も変わらない『子どもは地域の宝精神』を改めて実感した」「とても楽しかった。もっとこんな企画を行って欲しい」という嬉しい感想がたくさん寄せられました。地域の子育ち親育ち中の親子に喜んでいただき、関係者一同、笑顔で見送ることができました。

その他にもサマー研修、ボウリング大会、新年会と毎年行われている行事はいつも大人数でにぎやかです。「一致団結！」を合言葉に、公私の別なくみんなでつながりを大切にして、八幡西支部今日も元気です！





もういいかい～
かくれんぼ。

「みんなでかくれんぼ！
うまくかくれるよ。」

(5歳児の作品)

雑感 「感謝」

今の職場（北九州市小倉社会事業協会）に入職して9年目になります。その間、2度の異動を経て、今に至っています。その中で私自身3度の転機がありました。

まずは結婚です。当時4歳児のクラスを担当していましたが、久しぶりの以上児クラス。配慮の必要な子どもや保護者との対応等、色々悩まされるがありました。そんな中で結婚が決まり、嬉しさの反面、この時期に結婚式を挙げる事で、他の先生方に迷惑をかけることになったらどうしよう、という不安が頭をよぎりました。しかし、そのことを同僚の先生に相談すると「休んでいる間は仕事のことは忘れて、戻ったらその分頑張れば大丈夫！」と言ってもらい安堵感を持つことができたことを憶えています。

そして結婚から一年半後。初めての異動となり、新たな気持ちで、その園に慣れるのに必死だった時に子どもを授かりました。待望の我が子。その時2歳児のクラスを担当していましたが、元氣一杯の子ども達と日々体当たりの保育で過ごしていく中、このままでは体調を崩してしまうのではないかと、と不安を抱えながら過ごしていました。しかしおかげさまで、一緒に組んでいる先生方、その他の先生方、夫や家族に支えられながら産休を迎えることができました。そして、子ども

が誕生し、嬉しさでいっぱいのがんばりで子育てをしていましたが、職場復帰直前に本当に体調を崩してしまいました。早く復帰しないと先生方に迷惑をかけてしまう…と焦っていると、夫から、結婚の時に同僚の先生に助言してもらったのと全く同じ言葉をかけられました。とても嬉しく思いました。予定より数ヶ月遅れての復帰となり、先生方には迷惑をかけましたが、温かく迎えていただいたことも嬉しいことでした。

今年度異動となり、色々な気持ちを払拭し、心を新たに楽しく仕事ができています。また、職場でも小さい子どもがいるということでも色々配慮してもらっています。今思うことは自分の両親、何をおいても夫や家族の協力があるからこそ、この仕事を続けていけるのだということです。そのことに感謝の気持ちでいっぱいです。我が子は、今年度乳児保育園を卒園し、来年度から新しい環境に進みますが、私自身あれこれ迷わず、しっかりと前を向いて子育てと仕事を両立していきたいと思っています。また、保護者の方々や、これから結婚や出産を経験する若い職員が、私と同じように悩んでいたら、自分がかけてもらったような優しい言葉や経験談を伝えていきたいと思っています。

三萩野保育園

則行 香奈

編集後記 — 気持ちが安らぐ場所は？ —

以前、ある研修会において講師から聞いた話です。その講師は参加者に尋ねました。「気持ちが安らげない場所って、どんな場所だと思いますか？」参加者はいろいろな答えをあげました。すると講師は「一人でいると孤独感、二人でいると劣等感、三人でいると疎外感を感じる場所、とも言えるのではありませんか」と話され、続けて「反対に気持ちが安らぐ場所とは、一人でいると充実感、二人でいると安心感、三人でいると連帯感を感じる場所とも言えるのではないのでしょうか」と語られました。何人でののか、何をしているのかではなく、そこがどのように感じられる場所なのかということこそ、わたしたちの安らぎに関係しているのだと気づかされました。保育所（園）を、子どもたちが充実感や安心感、そして連帯感を感じられる場所にするべく、保育関係者はみんな頑張っておられます。今年もみんなで一緒に手を携えて行きましょう。

「保育北九州」編集長 日野 真人